

オミクロン株の特徴（従来株との比較）

	最初の検出	感染性	重篤度	再感染やワクチン効果
オミクロン株 (N501Y) (E484A)	2021年11月 南アフリカ等	<u>高い可能性</u>	十分な疫学情報 が無く不明	<u>再感染リスク 増加の可能性</u> <u>ワクチンの効果 を弱める可能性</u>
デルタ株 (L452R)	2020年10月 インド	<u>高い可能性</u> ※アルファ株の1.5倍 高い可能性	<u>入院リスクが 高い可能性</u>	<u>ワクチンの効果 を弱める可能性</u>
アルファ株 (N501Y)	2020年9月 イギリス	<u>高い可能性</u> ※従来株の1.32倍 と推定	<u>入院・死亡リス クが高い可能性</u> ※従来株の1.4倍と推定	効果に影響が ある証拠なし

※厚生労働省及び国立感染症研究所発表資料等をもとに作成